

アクティブ インテリジェンス

次の時代のビジネスインテリジェンス

情報に基づいた対応で
あらゆるビジネスの
瞬間を最適化



目次

従来型 BI の課題

- ➔ 従来型 BI の受動的なアプローチは
現在のデータ主導型のニーズへの対応が不可能 3

アクティブインテリジェンスの概要

- ➔ アクティブインテリジェンスとは 4
 - ➔ インテリジェントなデータアナリティクスパイプライン 5
 - ➔ リアルタイムで最新情報を提供 6
 - ➔ 迅速なアクションを誘発する設計 7
- ➔ アクティブインテリジェンスの5つのメリット 8
- ➔ アクティブインテリジェンスがもたらすビジネス成果 9
- ➔ アクティブインテリジェンスの活用例 10

QLIK によるアクティブインテリジェンス

- ➔ 刻一刻とビジネスを最適化 11
- ➔ Qlik のエンドツーエンドの取り組み 12

従来型 BI の受動的なアプローチは 現在のデータ主導型のニーズへの 対応が不可能

デジタル経済では、リアルタイムの俊敏性が不可欠になっています。組織は、事業の進展に応じて対策を講じるスピードが速まるほど、競争力を高めることができます。つまり、人とシステムにリアルタイムで最新の情報とアナリティクスを提供することで、ビジネス上重要なすべての瞬間を最適化します。

従来型 BI では、このようなニーズに対応することができません。従来型 BI は、事前構成済みの過去のデータセットを一括読み込みして、過去を表すデータから将来を予測しようとする受動的なアプローチを採用しています。では、「今」という最も重要な瞬間を理解し、この瞬間に情報に基づくアクションを起こすことはできるのでしょうか。つまり、従来型のビジネスインテリジェンスソリューションは、リアルタイムの意思決定やアクションを最適化するように開発されていないのです。

今日の組織には、情報に対して従来よりも遥かに動的な関係が必要です。データは、今の瞬間を反映しているからこそ、高いビジネス価値を持っています。日々のプロセスに情報が絶えず取り込まれ、その情報をユーザーがいつでも直観的に活用でき、ビジネスと市場のあらゆる側面の「今」を把握できる関係です。

データを有効にできなかった代償

IDC 社の最近の調査¹ では



データからインサイトを
導き出すまでのパイプ
ラインが脆弱な組織の内、
**意思決定で高いスコアを
獲得したのはわずか 2%**

¹ IDC InfoBrief: 協賛: Qlik、「新しい「水」としてのデータ: データとアナリティクスのパイプラインへの投資の重要性」、2020 年 6 月。

アクティブ インテリジェンスとは

デジタル経済のニーズが、最新型 BI へのアプローチに必要な変化を推し進めています。この新たな枠組みは、迅速なアクションを誘発するために設計されたリアルタイムの最新情報から継続的なインテリジェンスを提供することで、従来型の受動的な BI の欠点を克服することを目指しています。

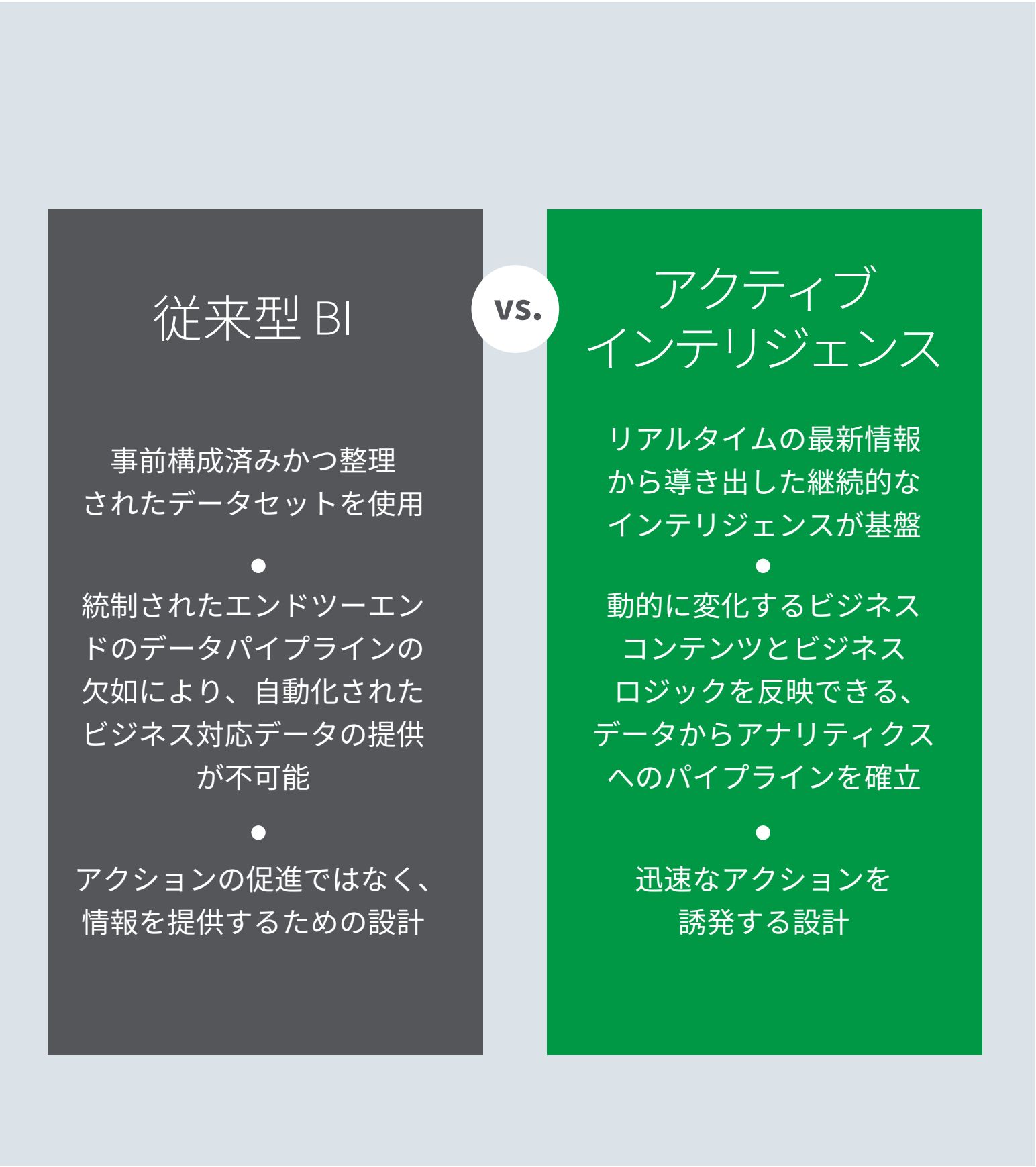
これをアクティブインテリジェンスと呼んでいます。

アクティブインテリジェンス：

ac-tive in-tel-li-gence | \ 'ak-tiv in-'te-lə-jən(t)s \

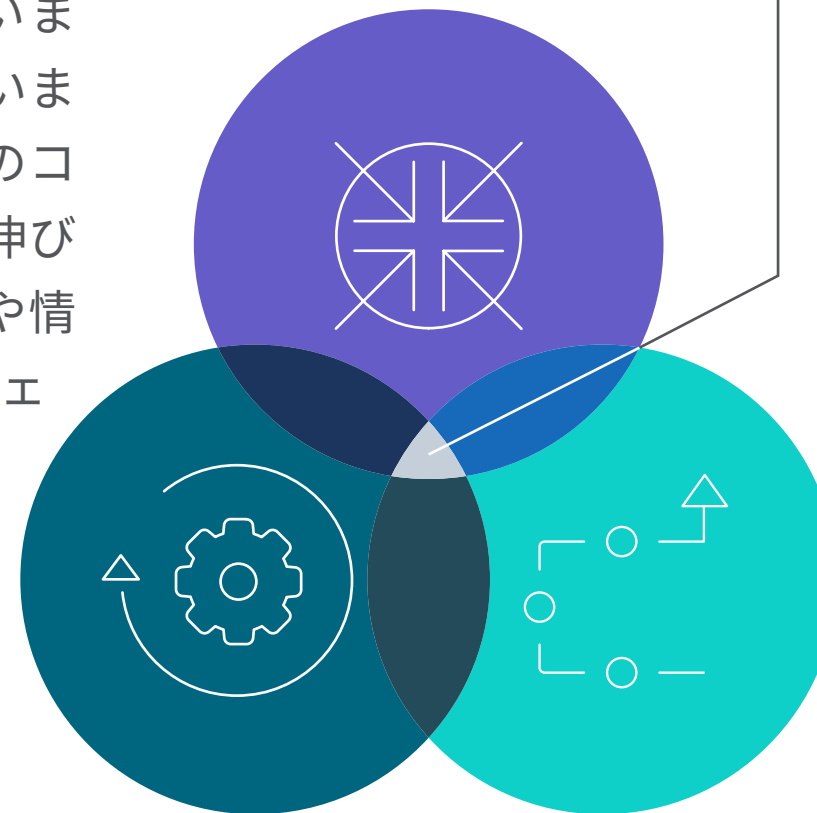
名詞

テクノロジーとプロセスが、リアルタイムに取り込まれた最新データを迅速なアクションにつなげる、継続的なインテリジェンスの状態



インテリジェントな データアナリティクス パイプライン

従来型の BI では、データの取り込み、統合、提供、アナリティクス、コラボレーション、ストーリー共有という一連のソリューションで構成されています。これらは統合パイプラインにまとめられていません。アクティブインテリジェンスは、これらのコンポーネント間のギャップを解消して多方面に伸びる「導管」を作成し、組織全体にわたるデータや情報の継続的な流れを実現します。このインテリジェントなデータアナリティクスパイプラインにより、最新データが取り込まれるとほぼ同時に、ユーザーに提供されます。



アクティブインテリジェンス

複数のデータ情報源のデータを統合

アクティブインテリジェンスは、さまざまな種類や形式のデータを統合します。現在のデータと過去のデータを組み合わせて動的にデータセットを作成し、アクションにつながる驚くべき実用的なインサイトを発見する機会を増やします。

データの移行と変換の自動化を構築

アクティブインテリジェンスは、リアルタイムの変更データキャプチャ、データウェアハウスの自動化、データレイク作成などのテクノロジーを活用して、データの統合や変換などのプロセスを自動化します。これにより、組織全体のデータの移行を大幅に加速します。

系列を維持

データの統制、透明性、信頼性を維持するため、アクティブインテリジェンスではメタデータを使用して、パイプライン全体を通してデータ系列を維持します。

リアルタイムで 最新情報を提供

アクティブインテリジェンスは、「今」という最も重要な瞬間に最新情報を利用可能にします。自動化された指標やインサイトをダッシュボードから利用する場合でも、マシン主導型プロセスに直接埋め込む場合でも、アクティブインテリジェンスは保管中のデータと移行中のデータを組み合わせ、データの動向を反映し、ビジネスの重要な瞬間にインサイトを提供します。



常時稼働の 組み込み型インテリジェンス

アクティブインテリジェンスは状況に応じて実行されます。このため、データアナリティクスプラットフォームは、ビジネス主導型およびマシン主導型のプロセスに直接組み込むことができる、あらゆるアナリティクスの使用例に対応します。



AI と機械学習を活用した 拡張アナリティクス

データアナリティクスは、人間の直観力を強化するように設計されています。AI と機械学習アルゴリズムを使用して、さらに深い分析とコラボレーションを実現するためにリアルタイムの事象や予測を提示し、迅速なアクションを促進します。



データパイプライン全体での コラボレーション

これまでのデータの生成者と利用者間に発生する時間的なギャップを解消し、さまざまな役割のユーザーが協力して必要なデータセットの定義や強化を行うことができるようになりました。

迅速なアクションを誘発する設計

従来型の BI は、人間に情報を提供するために設計されたものであり、その延長として、アクションにつながる情報源として使用することができました。アクションを促進するためのものではなく、ましてや自律的にアクションを誘発するためのものでもありませんでした。アクティブインテリジェンスは、その名が示す通り、意思決定のための情報提供とアクション促進の両方を支援します。



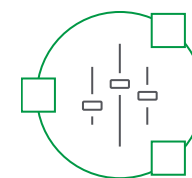
動的なアラートと事象の誘発

アクティブインテリジェンスの核となるのは、特定の条件が満たされた時にアクションを開始または誘発することができる、運用プロセスに直接組み込まれた拡張アナリティクスです。



ユーザーにアラートを配信

また、アクティブインテリジェンスは、状況に応じてユーザーごとにパーソナライズされたアラートを生成してアクションを提案することで、その瞬間のアクションを促進します。



調整されたアクション

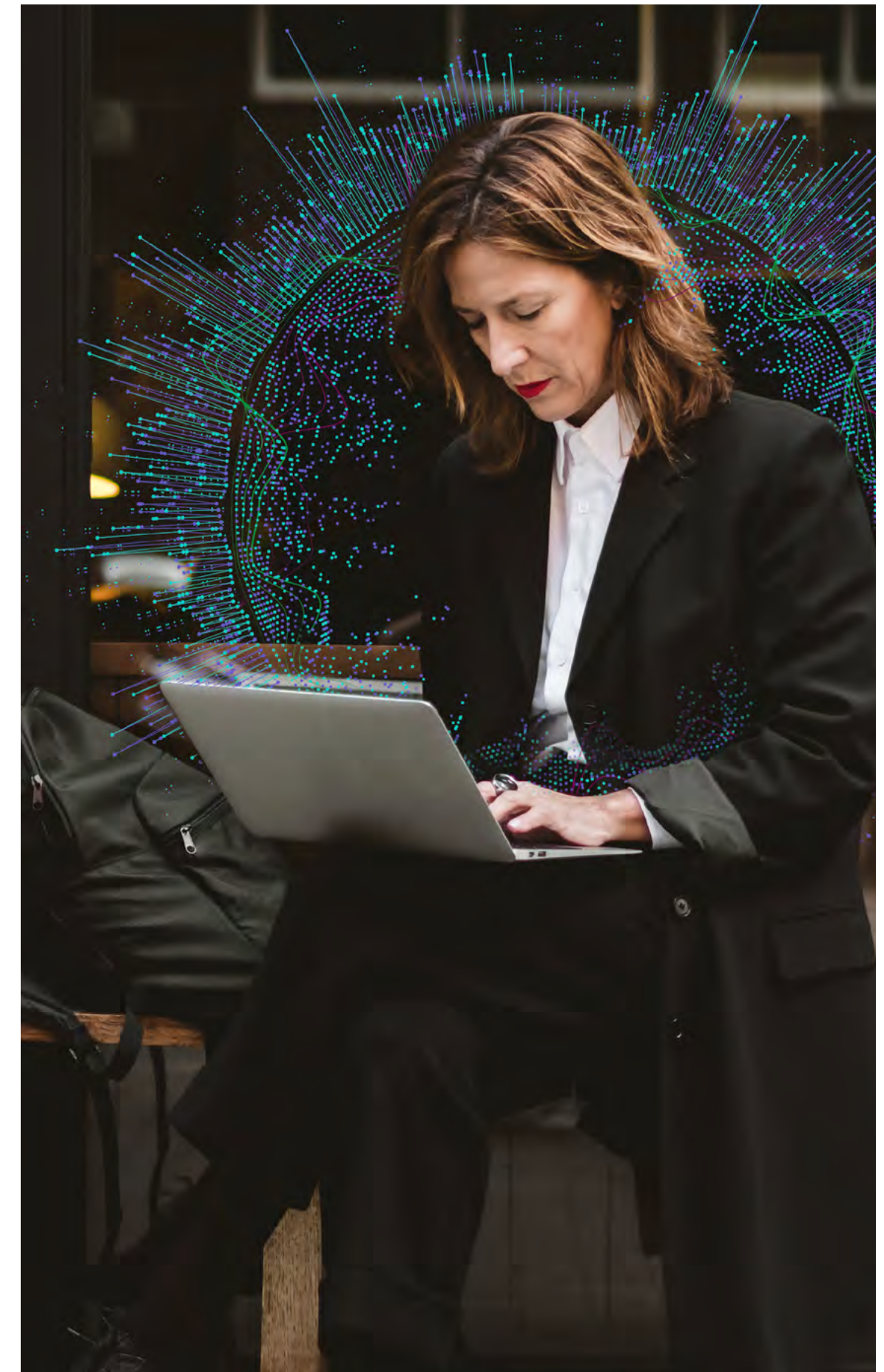
アクティブインテリジェンスは、誘因や条件が発生した時点で、これらに基づいた事象やアクションの調整を実現します。

アクティブインテリジェンスの 5つのメリット

アクティブインテリジェンスは、今ビジネスで起きていることと、利用可能な情報やインサイトとのギャップを解消します。その結果、イノベーションの促進、価値の加速、競争力を高める大きなチャンスが生まれます。

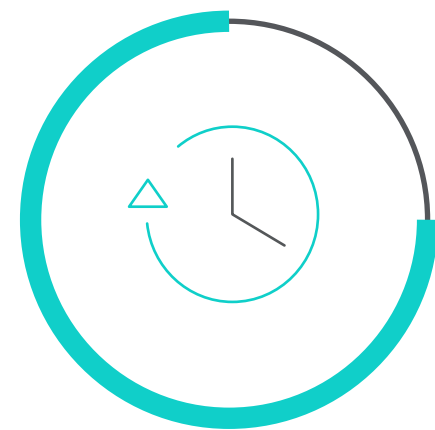
アクティブインテリジェンスは、以下を実現します。

- 1 **リアルタイムの対応**：ビジネスや市場におけるトレンド、関連、変化を把握して即時に対応
- 2 **戦略、プロセス、製品の改革**：デジタル世界に向けて状況に応じた見直し
- 3 **時間的な壁を越えたコラボレーション**：データ生成者とデータ利用者が連携
- 4 **ビジネス成果を加速**：業務のあらゆる領域で俊敏性と効率を向上
- 5 **信頼性の担保**：発見されたインサイトと実行するアクションの信頼性を向上



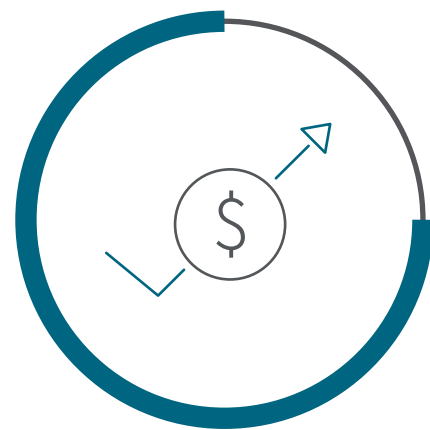
アクティブインテリジェンスがもたらすビジネス成果

1,200 社のグローバル企業を対象に IDC 社が実施した調査¹で、アクティブインテリジェンスを確立することで得られる明らかなメリットが判明しました。強力なデータからアナリティクスへのパイプラインを有する企業の大半は、以下の重要な指標で改善が見られたと回答しています。



76%

業務効率の向上



75%

売上の増加



74%

利益の増加

人的要素

アクティブインテリジェンスは、データリテラシーの高い従業員により、さらに威力を発揮します。あらゆる要素（人材も含む）が連携して、データを取り込み、分析し、アクションを起こす動的なシステムを構築する上で最後のピースとなるのが、データリテラシーの高い従業員です。

データリテラシーの高い従業員の育成とは、単にトレーニングによってデータスキルを向上することではありません。これには、最新のテクノロジー、特に、自然言語検索、会話型アナリティクス、拡張インサイトのほか、あらゆるスキルレベルの従業員をサポートする拡張アナリティクスを活用することも含まれます。

データリテラシーのメリットは、ビジネスの理解が深まるだけではありません。データリテラシーが向上すると、データ主導型の意思決定に対する自信も高まり、結果的に、アクションを起こす可能性も高まります。データではなく、アクションこそが、ビジネスを変革するのです。

¹ IDC InfoBrief: 協賛: Qlik、「新しい「水」としてのデータ: データとアナリティクスのパイプラインへの投資の重要性」、2020 年 6 月。

アクティブインテリジェンスの活用例

アクティブインテリジェンスは、カスタマーエクスペリエンス、不正の検出、IoT 対応の製造から、現状への瞬時の対応で改善できるプロセスまで、あらゆるレベルの業務に反映できます。

その例をいくつか次に示します。

サプライチェーンの最適化

サプライチェーンの価値は、現在の状況に基づいた管理を行うことで、格段に向上します。最新の売上、経済、季節的データと在庫、物流、その他の供給側の動向を組み合わせることで、市場の動きに沿ったジャストインタイム（無駄を排除して生産効率を向上する）の意思決定が可能になります。

価値に基づいた医療

個人の健康データ、人口データ、病状データをまとめてアクティブインテリジェンスアプリケーションに取り込み、患者の病歴を基にリスク要因を即座に処理します。また、複雑な診断をパーソナライズし、早期介入など価値に基づいたアクションを実現することができます。

個別のカスタマーエクスペリエンス

リアルタイムのインサイトに基づいた対応をすることで、お客様とのつながり、ロイヤルティ、生涯価値を構築します。たとえば、カスタマーサービス担当者は、お客様に合わせた問題解決を行うことができます。また、お客様が購入しようとした商品が突然在庫切れになった場合、動的に新しい商品が提案されるようにすることもできます。

不正の検出と損害緩和

金融取引に関わる不正が増加していることで、アクティブインテリジェンス主導型のアプローチが求められています。進行中の取引を監視して異常を発見したり、担当者への通知や取引を停止することは、金融業界に大きな影響をもたらすアクティブインテリジェンスの活用方法の1つです。

IoT を活用した予測メンテナンス

IoT データと 5G テクノロジーは、製造や公共事業などの分野におけるアクティブインテリジェンスの使用例を支援します。リアルタイムデータと過去データ、AI/ 機械学習処理により、予測メンテナンスを予見して開始することができます。これにより、最適なパフォーマンスとビジネスの継続性を促進します。

緊急事計画と物流

緊急事態は、本質的にリアルタイムで動的な事象です。政府機関や民間の組織は、業務データと照合して現在の天気および災害情報を評価して状態を予測し、状況の変化に合わせて人員、機器、プロセスを調節することができます。

刻一刻とビジネス を最適化

Qlik は、かつて最新型 BI の時代を切り拓いたように、アクティブインテリジェンスへの取り組みをリードしています。Qlik は、生データをインサイトに変換し、調整されたアクションを推進するために連動で設計された製品群を提供する初めての事業者です。Qlik のデータ統合プラットフォームとデータアナリティクスプラットフォームを組み合わせることで、最新の情報に基づいた継続的なインテリジェンスの状態へと進化し、情報に基づいたアクションを実現することができます。



データ統合

Qlik のリアルタイムのデータ統合プラットフォームは、クラウドサービスや場所に縛られることなく、企業固有のデータ戦略を支援します。Qlik のプラットフォームは、データを解放し、ビジネスのスピードでアナリティクス対応の情報に変換することを目的として設計されました。データセットは、エンタープライズデータカタログを介して継続的に更新および管理され、データ生成者と利用者間のギャップを解消します。この Qlik 独自の、高性能かつリアルタイムのアプローチは、ビジネスを常に最新の状態に維持します。



データアナリティクス

Qlik のクラウドネイティブなデータアナリティクスプラットフォームは、最新の人工知能と機械学習機能を基盤とし、データから隠れたインサイトを導き出します。Qlik のオープンなアプローチは、セルフサービスの探索や発見から組み込み型アナリティクスまで、あらゆるアナリティクスの使用例を実現します。また、Qlik 独自の特許を取得した連想エンジンは、データ探索の視野を広げて、他のツールでは発見できない相関関係やインサイトを明らかにします。さらに、自動アラート機能とモバイル対応により、ユーザーは常に状況を把握することができます。



データリテラシー・アズ・ア・サービス

データリテラシー・アズ・ア・サービスは、データに基づく企業文化の醸成を目的に設計された、カスタマーサクセスのための取り組みです。これには、重大なすべての問題に対応する 24 時間体制のサポート、お客様の目的に合わせたパーソナライズされた常時対応サービス、あらゆる製品に対応するデータリテラシーのコンサルティングおよび教育サービスが含まれます。

Qlik のアクティブインテリジェンスへの エンドツーエンドの取り組み

Qlik のプラットフォームは、サイロからデータを解放して、ユーザーが容易に発見できるようにします。
スキルレベルを問わず、誰もがデータを理解し、データを基に迅速にアクションを起こすことができます。



Qlik で、組織がアクティブインテリジェンスを実現する方法とは

無料トライアル



株式会社アグニコンサルティング

アグニコンサルティングは、予算策定から、業務分析アプリケーションの構築、基幹システムの導入まで、多くの実績をもっています。経験豊富なコンサルタントがプロジェクトの導入から、研修、運用フェーズまで、一気通貫で支援し、お客さまご自身でしっかりと使いこなせるまでサポート。個々のお客さまの目的や社内のリソースに応じて、柔軟に対応いたします。そして、QlikTech®社の販売パートナーとして培ってきた実績と高い技術进行评估され、国内でも数少ない「公式認定トレーニングパートナー」として認定されています。

Contact

<https://ba.agnieconsulting.com/>

03-3560-2051

<https://ba.agnieconsulting.com/contact.html>



QLIK について

Qlik が描くビジョンは、すべての人がデータおよびアナリティクスを使用してより良い意思決定ができ、非常に困難な課題を解決できる、データリテラシーに富んだ世界です。Qlik は、データ、インサイト、アクション間のギャップを解消するエンドツーエンドのリアルタイムのデータ統合・アナリティクスクラウドプラットフォームを提供しています。データをアクティブインテリジェンスに変換することで、意思決定の質を向上し、収益および利益性の向上や顧客との関係性の最適化を実現することができます。Qlik は、世界100 ヶ国以上、50,000 社以上の顧客に向けて事業を行っています。

qlik.com